

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

主管課 観光交流課

①政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	③取組の 基本方向	「魅力ある観光と交流を創出する」ため、市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、特色ある地域資源を観光に生かすための「観光資源の活用促進」に重点的に取り組みます。						
②政策名	魅力ある観光と交流を創出する								
④目 標	本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民自らも誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れてもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。	⑥政策指標 の進捗状 況	政策の指標	来訪者に、自信を持って案内できる場所が市内にあると感じている市民の割合					
⑤政策を 取巻く環 境	参加型、体験型などへの観光スタイルの変化に伴い、地域住民との交流への来訪者ニーズが高まる中、市民がおもてなし意欲を持って来訪者に接することは、本市の印象度を高める上で有効な手段であり、市民のおもてなし力を向上させるための取組みが重要となっている。 市民自らが地域資源に愛着と誇りを持って、より魅力的な観光環境を形成していくため、新たな観光資源の発掘やイベントの充実など、市民主体で展開される観光振興活動を支援する取組みが重要となっている。		H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
			20.2%	18.5%				34.0%	54.4%

2. 政策の評価

○現状と 課題の分 析	来訪者の満足感や再来意欲は高く、来訪者数も年々増加しているが、指標の進捗状況は1、7ポイント減少し、目標の34%を達成するためには厳しい状況である。各施策の状況については、概ね目標達成しているものの、市民意識の重要度が低い現状である。市民がおもてなし意識を持って来訪者に接遇できるよう、おもてなし力の向上に努めるとともに、より魅力的な観光環境を形成するため、新たな観光資源の発掘やイベントのリニューアル化を推進するとともに、県や近隣市町、民間企業との連携を強化するなど、広域観光の推進体制をいっそう整備していく必要がある。
-------------------	---

3. 政策を構成する施策一覧

No.	① 施策名	② 施策の達成状況				③ 施策の二次評価	④市民の意識	
		施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標		進捗状況	満足度
1	おもてなしの向上	「来てよかった」、「また訪れたい」と感じている来訪者の割合 (%)	48	48	50	96.0%	25.2%	54.4%
2	観光資源の活用促進	年間入込客数 (千人)	13,209	13,807	15,000	92.0%	32.7%	52.4%